

平成30年9月18日

能代市議会議長 渡辺優子様

3班 班長 菅原隆文

議会報告会実施報告書

- 1 開催日時 平成30年8月29日（水）午後7時00分～8時10分
- 2 開催会場 二ツ井町庁舎大会議室
- 3 参加者数 4人
- 4 出席議員 菅原隆文（班長）、渡邊正人（司会進行者）、小林秀彦（報告者）、佐藤智一（記録者）、大高翔、原田悦子
- 5 報告内容
 - （1）平成29年度 議会の活動状況
 - （2）予算、決算等の審議概要
 - ①平成29年度能代市一般会計当初予算について
 - ②平成28年度能代市一般会計決算及び特別会計決算について
- 6 意見、要望、提言等 別紙のとおり
- 7 その他特記事項（改善点・気付いた点を含む。）
 - ・参加者が少なくより広く周知することに加え、参加しやすい環境づくりに工夫が求められる。
 - ・参加者からの意見の取り扱いについて当報告書をもとに全議員との共有を図る。
 - ・平日夜間の開催は集客がしにくい可能性もあり得ることから今後は開催時期や曜日等も加味しながら参加者増加を検討したい。

※報告書は班長が開催日から21日以内に議長に提出するものとする。

(1) 議会に関する事項

なし

(2) 市当局に関する事項

番号	意見、要望、提言等の内容	報告会における対応
1	移住定住対策としてどのような制度があり、そしてその効果はいかがか。	首都圏で行われる相談会に積極的に参加しているほか、住宅改修の補助金などもある。子育ての補助などもある。また、2泊3日の移住体験ツアー、空き家バンクという制度も設けている。能代市では約2,000軒の空き家があると言われており、その空き家の活用と移住定住とのマッチングを目指すものである。具体的な結果の数値は持ち得ていないが、わずかであるが、確実に増えている感じはある。時間がかかるものとして対応していきたい。
2	道の駅ふたついに立ち寄ったが、インフォメーションに人がいなかった。どういった対応となっているのか。	7月にオープンしたばかりで、総合案内にたまたま人がいなかったのかもしれないが、実際は事務所の人がいたと思う。道の駅のあり方として関係する部署、運営会社に話したい。
3	弘前公園は（木の管理に関して）何年も同じ職員が担当している。専門職員の採用や育成の検討、もしくは条例や契約書につけるなどの対応を考えられないか。ゴミの案内看板（の針金）が街路樹にもついている。その街路樹は剪定されており、業者も担当課も見ているはずだが、誰も気がつかない。意識していれば分かるはず。剪定業者の発注書に、街路樹などに異常を見つけたら報告するといった項目をつけてもいいのでは。担当者に来てもらったら大抵のもの（針金）は外れた。外すことを条例化、明文化することが必要ではないか。連絡体制も大事で、業者も、他の課でも誰もが話せるような体制にしてほしい。	実際にできてから生じる問題もあるのではないか。委員会でも要望したいと思う。
4	除雪した雪を道路に戻す人がいる。どうにかできないか。 市道の雪を家の前に置くなという人もいるかもしれない。市民の協力が不可欠ではないか。	二ツ井地区は、合併後、排雪もできるようになり、前よりは改善されてきたのではないかと思う。

(3) 議会報告に対する質疑

番号	質疑の内容	報告会における対応
1	<p>昨年度の産業建設委員会の行政視察で、千葉県市原市で公園整備の視察をしている。どういった取り組みだったのか。また、能代市に取り入れられるようなものはあったのか。</p>	<p>市原市の総合公園内の防災の視察である。公園のベンチがトイレになるなどといったもので、現実的に能代市で生かしたというものではまだないが、非常に面白い取り組みであった。</p>
2	<p>緑の基本計画の中で緑化とあるが、能代市はあまり進んでいないと感じる。環境基本計画の中に、公共施設の緑化をはかるとあるが、ただ緑を増やせばよいというものではなく、適正な設計、適切な管理が必要で、市はまだまだできていない。</p> <p>例えば能代市の新庁舎、さくら庭は素晴らしい。しかし、屋根の下に木が植えられている。屋根の下だから雨があたりず枯れていた。</p> <p>1 m幅で植えられているがそれ以上に成長する。成長のことを考えず整備されている。</p> <p>設計者、職員、庁舎委員会で見ていなかったのか。緑の基本計画に即したものになっているか、議会で問いかけてほしい。</p> <p>青森県十和田市には緑の市議会があり、条例もあるのでぜひ視察にいつてほしい。勝手に木を切れないことになっている。</p> <p>天空の不夜城の時に、市は県の管理の木を切った。街中の街路樹には200年、300年の木もある。全国一の街路樹である。価値をわかって保存していくことも考えてほしい。</p> <p>二ツ井テニスコートでは、プラタナスの2 m離れたところに桜の木を植えた。ソメイヨシノなので、成長すれば枝張りが10mくらいになることから、完全に成長できなくなる。現場に立ち会って植え直してもらった。工事が終わったあとで二度手間である。</p> <p>以前は、公園緑地課があり、管理体制や緑の啓蒙啓発などもしていた。今はやれていない。情報の一元化、連携、情報共有が大事。議員側も現状を把握していただき、視察をしてもらい市をよくしてもらいたい。</p>	<p>要望として市にも伝えたい。今年の見察内容は決まっているので、来年度以降の見察について、取り入れられるよう委員会へ伝える。</p>

<p>3 市にはグリーンパートナーがあるが、その代表で（緑の基本計画策定に）参加した。ボランティアは何でも協力するから、行政で体制をつくってほしい。道の駅ふたつ、河畔公園の時にも話したが、木を植えると支柱をつける。支柱から高く切るから痛みやすくなる。支柱のかけ方を工夫する、支柱を外すなど、縄がくいこまないように、もう根付いていたら外さなければならない。支柱の共通仕様書を市役所に提案している。道の駅は直った。河畔公園は2週間かけて直った。管理する人が直しても、工事する人、設計する人が理解しなければならない。管理する課でなく、設計を担当する課が分からないといけない。支柱は3、4年で解体が必要となるが、工事の担当者は異動していなくなり、伝わらない。そのためグリーンパートナーとして、この木、危ないよなどと伝えている。ゴミの看板も同様。木に針金が巻かれていて、死んでしまう。木の保護のため外してほしいが、取り付けは自治会に任せているとのこと。看板の設置箇所については周知が必要で、自治会に投げないで一緒にやってほしい。天洋酒店さんの並びに三角の立て札があり、そのようなもので能代らしさを生かしてほしい。材木関係も巻き込みながら、考えてほしい。</p>	<p>市に積極的に話していきたい。自分自身も確認してみさせてください。議員でできる部分もあるかと思う。参考にしたい。</p>
<p>4 ゴミのことについて。名前の入っていないゴミについて市役所に相談すると、名前を書くことに抵抗のある方もおり、対応が難しく検討すると言われた。名前を書いてもらう方法を考えてほしい。市から名前のないゴミが置かれているときは、すぐに連絡がほしいと言われたが、連絡すると次の回収までそのままと言われた。雨は降るし、風もふく、犬猫はどうするのか。議会として取り上げてほしい。乾電池も同じです。私の場合は、名前の書かれていないゴミが2、3日置かれていれば、自分のゴミとして出し直している。綺麗な町にするためには、そういうことからやっていかなければいけないのではないかと。議会で取り上げてもらいたい。</p>	<p>所管委員会等で話していきたい。</p>